

# この企業の匠

## ◆連載10◆ 小規模オフィスに活路を見出した不動産業界の侍

日総ビルディング常務 大西隆之

### 応接室のないオフィス

東京・港区、東京メトロ虎ノ門駅から松田通りを神谷町駅に向かって歩いて五分ほどすると左手に見えてくるのが、日総第23ビル。地上二階建てのよくある中規模オフィスビルなのだが、このビルが、この六月にリニューアルして以来、さまざまなメディアで取り上げられるなど、不動産界で話題を集めているという。

このビルの一階は、三分の一が飲食ができるスペース（カフェテリアスペース）になっており、もう三分の一がミーティングエリア、そして残り三分の二にはソファを置き、ゆったりとした雰囲気のコミュニケーションが図れるスペース（フレイクエリア）になっている。このスペースを、このビルの入居者は使うことができる。

その代わり、二階以上に入っている各オフィスには、原則として応接スペースがない。つまり、オフィスはデスクワークを行うことに特化し、接客や打ち合わせなどは二階の共用部分で行うという思想でこのオフィスビルは出来ており、「エキスパートオフィス」という名称がつけられている。

「このビルを企画したのは、今回の『匠』である。日総ビルディング常務の大西隆之氏（33）だ。」

日総ビルディングは一九七三年にビル・倉庫事業を目的に横浜で創業した。バブル崩壊後は苦境ではしたが、なんとか立ち直り、現在では東京、横浜を中心に約二〇棟のオフィスビルの開発・運営を行っている。大西常務の父は、日総ビルディング社長の西紀男氏。大西常務は慶応大学経済学部を卒業後、三井不動産を経て二〇〇三年に入社した。

大西常務がエキスパートオフィスを企画したのは二つの理由がある。一つは入居者側からのニーズである。このビルの入居者は、当初から弁護士や公認会計士などの士業（さむらいぎょう）など、少数精鋭の知的生産性の高い企業を想定していた。「このような企業がオフィスを探そうとするとなかなか制約が多いんです。セキュリティがしっかりしたビルに入居しようとしても、ほとんどの場合、二、三人の社員で使うには広すぎる。しかも家賃は下手をする」と二〇〇万円以上かかってしまう。

これは経済合理性に欠けています。そこで、かといって小さなオフィスを探そうとすると、雑居のペンシルビルになってしまいます。これだとセキュリティも含めビルのクオリティが低い



これが1階にある共用スペース。接客・会議はここで行う。

「一方、貸手の側にも大きな問題があった。」

「リーマン・ショック後、都心のオフィス賃料は下がり続けています。最近では、下げ止まってきたと報じられたりしますが、それは一部にとどまりません。」

オフィスビルには、S、A、B、Cの区分があるという。Sは、丸ビルなど、一等地にある大型オフィスビルで賃料も高い。Aは、Sに準ずる大型オフィスビルで、賃料もSに次ぐ。Bは、日総ビルディングなどに手がける中規模オフィスビルで、Cはペンシルビルなどの小型ビルを指す。

このうち賃料が下げ止まったのは

S、Aクラスのみで、B、Cはいまでも下がり続けているのだという。「いくら質のいいオフィスビルでも、それが価格に反映されないのが現状です。結局、価格だけが競争条件になってしまっています。でもこれでは消費戦に陥るだけです。もう一度、オフィスの価値を再確認する必要があります。そのためには、これまでメインの入居者だった上場企業などの大企業や規模事業者ではなく、少数精鋭の企業にターゲットを絞り、彼らの発展に力を貸せるオフィスビルを目指しました。それが

### エキスパートオフィスです」 坪単価は周辺の2倍

冒頭に記したように、エキスパートオフィスはそれぞれのオフィスに「応接室」と、利用頻度の低いスペースを持たない。そのため借りの面積を相当小さくすることができ、また、執務空間に特化したオフィスのため、入居時の工事費用もほとんどかからない。また一般的に賃料の「一〇〜二ヵ月分必要な保証金（敷金）」も四ヵ月分に抑えている。「ですから、入居にあたってのイン

シャルコストは、従来のオフィスよりも六割から七割安くなっています。また家賃に当たる月の会費に電気料金やプロパティ料金も含まれていますが、それを含めると従来のオフィスより三割ほど安いです。ここで昔くと、ビル側はどうやって儲けるのか不思議に思われるかもしれません。しかし坪単価で考えれば、このエキスパートオフィスは坪三万円。比べると二倍近く

前述のように、基本的に「接客室」や「会議室」を二階で行う。これによって、このスペースをいかに居心地良くするかに、大西常務は工夫を凝らしている。二階の共用部分には、お互いの距離が「一気に縮まりました。ビジネス」というのは入居者です。いかに信頼関係を築くかが重要です。そのためには、ちょっとしたラフな会話の時間と空間があったほうがいい。そこで、エキスパートオフィスにフレイクエリアをつくったのです。」

また、この共用スペースで知的生産性の高い入居者同士が交流することでも、新たな発想が生まれることも期待できる。

日総ビルディングでは、この虎ノ門を皮切りに、都内で何か所か、エキスパートオフィスを誕生させる方針だ。長引くオフィスビル不況の中、新しい発想で、ビル側と入居者のウィン・ウィンの関係を築こうという試みが始まった。



中間オフィスビルに新風を記した大西隆之 日総ビルディング常務。



# 広報窓

連載 88  
the window of public relations

## PRから商品企画へ

日総ビルディング 常務取締役 広報責任者  
**大西 隆之** Onizumi Takayuki



日総ビルディングは、工業・少数精鋭企業向けの新たなオフィスブランド「エクスパートオフィス」の立ち上げを契機に積極的なPR活動を開始しました。

これまでのオフィスは、設

備スベックなど定量的な「働く空間」についての商品説明が一般的でしたが、今回、私たちが提案する「知的生産性と創造性を高める豊かな働き方」というコンセプトは、社内外のコミュニケーションの活性化など定性的な「働く時間」をオフィス選びの新たな価値基準として広く企業に認知して頂く必要がありました。そこで、6月に記者向け説明会と内覧会を同時開催し、エクスパートオフィスで過ごす時間を体験して頂きました。結果、最新の大規模オフィスと同等の設備

仕様、充実した共用라운ジの設置など、6坪の小規模オフィスで実現させた商品特長をご評価頂き、多くの反響を頂きました。記者説明会後の問合せ件数も増えており、当社理念である「愛着と誇りを持つオフィスビルづくり」と、ビル賃貸業30年の知見を集約した本商品が、現代のニーズにマッチした結果だと考えております。今後、多くの方々から頂いたご意見を商品企画に活かし、更なる先進的なオフィスと働き方の提案を推進していきます。



日総ビルディング

# 高級小規模オフィスビル

## 東京都心や横浜で展開

日総ビルディング(港区)は、ハイグレード小規模オフィスビル「エキスパートオフィス」を手掛ける。既存の小規模物件をハイスペックな高級仕様のオフィスビルに改修して、テナントに賃貸する。都心5区や横浜エリアで2013年3月期は2棟、14年3月期以降は毎期1棟を供給する方針だ。

第1号物件として、港2から購入した。総投資額は区虎ノ門3丁目日総第1は千数億円だ。リニューアル投資額は約6000万円だった。敷地面積200平方メートル、鉄骨造。同社は、東京都心や横浜11隣接して延べ1404平方メートル、新横浜駅近くを開設した。06年11月に竣工した同物件を、11年3月下旬にレガロキヤビタル(千葉県船橋市)にわたってきた。同社による

と、S・Aクラスといったグレードの高い小規模オフィスビルの供給が不足している。そこで新ブランド「エキスパートオフィス」を設立した。駅近(間口の広い、約1600平方メートルの用地)に建設し、12年秋には新横浜駅付近の自社ビル「日総第16ビル」で、14年3月期以降は横浜駅近くに保有する

現時点では、14年3月期以降毎期1棟の供給を見込んでおり、「今後は主力事業の一つとして、ベンチャー企業が多く進出する都心5区を中心に展開していきたい」と同社大西隆之衛務取締役は力を込める。

12年秋には新横浜駅付近の自社ビル「日総第16ビル」で、14年3月期以降は横浜駅近くに保有する

「日総第5ビル」を、それぞれ「エキスパートオフィス」としてリニューアルオープンする予定だ。

都心5区では、新橋や赤坂、青山、渋谷などで中古ビルの仕入れを進める。将来的には用地から仕込むことも視野に入れているといい、小規模オフィスビル市場でのオンラインワンを目標とする。

# インタビュー

## 日総ビルディング 大西 隆之常務

日総ビルディング(東京都港区、大西紀男社長)は、弁護士や公認会計士などの「士(さむらい)業」や少数精鋭企業向けに新オフィスブランド「エクスパートオフィス」を立ち上げた。事業を先導する大西隆之常務は、従業員15人程度までの企業が都心で付加価値の高いオフィスを採す場合、「選択肢が少ない」と指摘。こまごまと分野に特化した事業を展開することで、オフィスビル業界での存在感を高める考えだ。東京・虎ノ門の第1号物件に続き、都心適地に取得した既存物件をリニューアルしながら、「年1棟ペースで事業を拡大していきたい」と意気込む大西常務に話を聞いた。



「少数精鋭企業向けのオフィスを手掛けてきた。物件に番号を付けたこれら『ナンバービル』のオフィスの区画は、30×150坪程度。これに新たなシリアルアとして5×30坪程度のオフィスを供給するのが『エクスパートオフィス』だ」

「数年前に新横浜のナンバービルで150坪のオフィスの解約があり、これを機に20×30坪に分割してみた。この物件で評価を得たのがきっかけとなった。調べてみると、従業員15人程度までの企業が借りるオフィスの選択肢が少ないことが分か

### 少数精鋭企業向けオフィス 年1棟ペースで展開

#### 都心適地の物件リニューアル

「ナンバービルでは、空室状況などを踏まえて供給のタイミングを見極める。既存物件を取得してリニューアルすることが中心になる。交通の利便性などを考慮して物件を見定めていく。赤坂、青山、渋谷、日本橋、京橋などのエリアを想定している。1年に1棟は取り組みたい」

「エクスパートオフィスに入居した企業が成長していくことがわれわれの望みだ。そのために愛着が持て、時代に合わせたデザインにすることも重要だと考えている。リニューアル工事の施工者は、元施工者にこだわらず、コスト、クオリティーの実績を重視してお願している」

「オフィスの先行販売をどう捉えている。」「都心部の賃貸オフィス市場は、オフィスビルの高層化・大型化もあって、中小規模のビルの先行きが決して明るくない。エクスパートオフィスは、過当競争状態にある市場での差別化策にもなるだろう。海外市場も見据え、今後の展開を考えていく。」

「第1号物件を虎ノ門に開業した。」「昨年3月に取得した物件をリニューアルした。間口が広く、奥行きもあるバランスのとれたビルで、そこに付加価値の高い共用部をつくることができると考えた。少数精鋭企業にとって共用部は、知的生産性を高める場と捉えることができる。そういう発想で空間演出をしたいと思いい、本物志向の家具や照明をしつらえた。デザインを佐藤尚巳建築研究所に依頼し、1級建築士の資格を持つ当社社員ともディスカッションしながらつくり上げていった」

「今後の方針を。」





日総ビルディング  
エキスパートオフィス 虎ノ門

# オフィスニーズの 多様化に応えた 少数精鋭向けの 新オフィスブランド

「エキスパートオフィス 虎ノ門」は、  
仕事を「働く場所」ではなく「働く時間」と捉え、  
入居企業の知的生産性を重視した  
コンパクトなオフィスビルだ。  
「サードプレイス」という考えに基づいてつくられた、  
質の高い共用施設を設けるなど、  
新たなオフィスビルの形がここにある。



エキスパートオフィス 虎ノ門  
(日総第23ビル)



日総ビルディング 大西隆之常務取締役

セオリーにあえて逆らう、無料で提供する共用スペースにしました。理由は、コミュニケーションを円滑化し、企業にとって無形資産ともいえるソーシャルキャピタル(豊かな人間関係を育んでもらいたいから。スペースが限られた小規模オフィスで働く人のさまざまな時間とシチュエーションを想定する上で、サードプレイスは、居心地のよい憩いと交流の場所として、知的生産性を高めるために必要な付加価値の高いスペースだと考えている」と語るのは、大西隆之常務取締役だ。

オフィス空間では珍しい無垢材の床に、インテリアはデンマークの有名なフリッツ・ハンセン社のチェアやルイス・ポールの照明器具を設置。照明やBGMは時間帯によって自動的に調節される。居心地のよさとは何かを徹底して追求した(大西氏)と前置きするほど、



桜田通りに面した格調高いエントランス。

**デ**ザイン性の高いエントラ  
ンスが特徴の「エキスパ  
ートオフィス 虎ノ門」は、再  
開発が進みビジネスエリアとし  
ての利便性が高まる虎ノ門、し  
かも桜田通り沿いの好立地に位  
置する。コンセプトは、エキス  
パートや少数精鋭企業で働く人  
の時間をより豊かにする小規模

オフィス。1人から最大14人ま  
で利用できるさまざまな区画が  
用意されている。  
**知的生産性を高める  
ラウンジスペース**  
ユニークなのは、「サードプレ  
イス」という考えに基づいて設  
けられた、三つの機能を持つ1

階共用のラウンジスペース。自  
席以外でも仕事のできるカフェ  
エリア、会議・応接のためのミ  
ーティングエリア、リラククス  
して談話ができるブレイクエリ  
アから構成されている。  
「不動産のセオリーでは、1階  
が一番高い賃料が取れるスペー  
スで、通常は店舗が入る。その

づくりを徹底してきた。  
もともと中規模オフィスビル  
が主体だったが、2007年こ  
ろから企業を取り巻く経済環境  
の変化や、オフィスニーズの多  
様化に合わせて、よりコンパクト  
なオフィスの提供を開始。今  
回の「エキスパートオフィス  
虎ノ門」はその方向性をさらに  
先鋭化したものといえる。

**入居時にかかる費用の  
コストダウンを実現**  
今年3月のオープン以来、見  
学者も多く、大手弁護士事務所  
から独立した弁護士や外資系コ  
ンサルタントなど、文字通りエ  
キスパートの入居が始まっている  
という。  
都心の小規模オフィスといえ  
ば、築年数が古い雑居ビルが多  
いのが現状だが、例えばそれま  
で勤務していた大規模オフィス  
ビルから独立するとき、オフィ  
ス環境の低下は仕事の生産性にも  
影響する。また企業の顔とも  
いえるエントランスが貧弱では  
来訪者の印象も悪くなる。そ  
の点「エキスパートオフィス  
虎ノ門」は、高い耐久性をはじめ  
最新の大規模オフィスビルと比  
べて遜色のないスペックを備え  
ており、テナントの満足度は高  
いという。



自室以外でも仕事ができるカンファレンスゾーンは、桜田通りに面している。大きな会議用デスクを備えたミーティングエリア(奥)と半円に仕上がったソファのブレイクエリア(左奥)で構成。長時間の会議や交渉時にちょっとした休憩を入れることができる。



最新の大型ビルと同等の室内環境(6.3F区画)。

**間口が広く開放感のある  
スペースを提供**  
オフィス部分の特徴は、ワン  
フロアを分割したすべての区画  
が、桜田通りに面した明るい空  
間であること。奥行きに比べて  
通りに面した間口が広いため、  
小規模ながら窓面が広く開放感  
のあるスペースとなっている。  
間仕切り壁は、吸音材を内包し  
た壁で、天井裏から床下の構造  
体まで間仕切り、高い遮音性を  
実現している。また高遮光回線  
を室内に引き込み済みで、PC  
をLAN回線に接続するだけで  
インターネット環境が整う。2  
階には共用複合機(スキャン・  
コピー)があり、室内PCから  
セキユリテーパー(盗難防止  
機能)でプリントアウトもでき  
る。エントランスとエレベーター、  
オフィス入り口には多重  
セキユリテーパーが完備されて

いる。  
月会費という名目で設定され  
る賃料は、水道光熱費や清掃費  
込みで、最大利用人数4人の  
6・7坪で21万3000円、14  
人利用の22・7坪で68万800  
0円。立地の割に価格帯がリー  
ズナブルなのは、会議室などを  
共有化することで、結果的にオ  
フィス賃料面積が圧縮されコス

トダウンが実現しているためだ。  
さらに入居時にかかる費用も、  
入会預託金と1ヶ月会費の4カ  
月分に抑えられている。共用施  
設が充実しているため入居時の  
内装工事費もかからず、これか  
ら独立スタートしようという企  
業はイニシャルコストを抑えら

れる(大西氏)というメリッ  
トがある。  
少数精鋭企業に特化した、入居  
企業視点から賃料の面も考慮し  
て徹底的につくり込んだエキス  
パートオフィス「働く人が誇り  
を持てるオフィス」という、同  
社の姿勢に共感して入居する企

業も多く、妥協のないオフィス  
づくりへの信頼感が高い。日総  
ビルディングでは現在、エキス  
パートオフィスの第2、第3の  
物件を横浜・新横浜で準備し  
ており、今後は都心での展開も計  
画中だ。  
「本当によいものを純粹につく  
ってゆきたい」と語る大西氏。  
同社のクリエイティブなビルづ  
くりの姿勢は入居企業の発展に  
貢献することだろう。

問い合わせ先  
日総ビルディング株式会社  
TEL:03-3586-1100  
http://www.expertoffice.jp/

2012.06.22

日経不動産マーケット情報

【戦略】 少人数向けオフィス仕様でビルの収益性を改善、日総ビルディング

<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/nfm/news/20120619/572612/>

※有料サイトの為、会員登録されている方のみご覧頂けます。

2012.06.22

フジサンケイビジネスアイ

13 ページ

第三種郵便物認可 Fuji Sankei Business i. 2012年6月22日(金) 成長企業 13

## 日総ビルディング ベンチャー向けテナント 賃料など運用経費抑え貸し出し

**飛躍カンパニー**

東京都心部や横浜、新横浜駅周辺でオフィスビルの運営を行う日総ビルディング（東京都港区）は、弁護士や公認会計士、急成長が見込めるベンチャー企業などをテナントの対象にしたオフィスビル事業に乗り出す。コンパクトながらセキュリティーや設備面で大規模ビルと同等の仕様を備えるとともに、賃料や電気代といった月当たりのランニングコストを一般的な小規模オフィスに比べ3～4割程度、削減したのが特徴だ。「エキスパートオフィス」というブランドで展開し、需要が見込める東京・渋谷や青山、赤坂、横浜などで順次事業化を進める。

第1弾の物件は「エキスパートオフィス 虎ノ門」（東京都港区）。昨年に十数億円で取得した地上11階建てのオフィスビル（2006年完成、延べ床面積は約1400平方メートル）の約4割をエキスパートオフィス仕様とした。

具体的には電気やLAN設備を充実させたほか、高い遮音性の間仕切り壁を設置するなど品質を確保。入居工事費が発生しなくて済むように、インフラ開

連を充実させた。また、執務空間内の会議室など利用頻度の低いスペースを共有化することにより、オフィスの契約面積を5～6割程度減らした。

電気・空調費は使い放題でも一定料金とし、賃料や清掃料、コピー機リース料など部屋を借りるのに不可欠なコストとセットにして月会費で徴収し、料金体系を明瞭化した。

部屋の大きさは約22～75平方メートルで、月会費は21万3000～70万3000円と周辺の小規模オフィスの約7割に設定した。入居時の初期費用も約3割で済むという。



「エキスパートオフィス 虎ノ門」の共用ラウンジスペースと大西常務（東京都港区）

1階の店舗が入っていたスペースは大幅にリニューアル。共用ラウンジスペースとした。単にテーブルと椅子を置くだけでなく、ゆったりとしたソファを設置した。「取引先とミーティングを行って話が煮詰まった場合、ソファに座って家族の話などをするとリラックス。会議を再開すると話が一気に進んだ」と同社の大西隆之常務が振り返るように、外国のホテルでの経験を踏まえた。大西常務は「この空間を有効に活用することで、イノベティブなアイデアが生まれやすい土壌が形成されるはず」と期待を寄せる。

同社は14棟のオフィスを運営、管理している。エキスパートオフィスの展開に当たっては自社ビルのリニューアルや、既存ビルを購入し改装するという手法で展開していく。（伊藤俊祐）

2012.06.22

SankeiBiz

【飛躍カンパニー】日総ビルディング ベンチャー向けテナント

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/120622/bsl1206220501000-n1.htm>



▲説明を行う大西氏

## 日総ビルディング

首都圏を中心に、ソーシャルキャピタル開発・運営管理がル（豊かな人間関係）を一体となったオフィスビル事業を展開する日総ビルディング（東京都港区）は、弁護士や公認会計士などの士業のほか、コンサルタントなど少数精鋭企業を対象にした、新たなオフィスブランドのエキスパートオフィス事業を開始。虎ノ門エリアで第1号となる「エキスパートオフィス 虎ノ門」を本格オープンした。

エキスパートオフィスとは、入居企業の知的生産性や創造性を高めることを目的とした、コンパクトでありながら大規模ビルと同等の最新仕様を備

### オフィス選びの新たな選択肢を提案

「自席で集中して情報を処理する、対話しながら協働して新しいものを創造する時間など、働くシチュエーションや空間へのニーズが多様化しています。このニーズに応えるため1階の店舗部分をリニューアルし、自席デスク・会議室に次ぐサードプレイスとして居心地のよい憩いと交流の場を設けております」（常務取締役 大西 隆之氏）

こと、入居企業の知的生産性や創造性を高めることを目的とした、コンパクトでありながら大規模ビルと同等の最新仕様を備



# ベンチャーにオフィス提案 創造性高める空間設計

日総ビルが  
新ブランド

既存ビルを経年「優化」へ「虎ノ門」(港区)は、5月に「日総ビルディング」(本 一部改修工事を終えた。同社 社・東京都港区、大西紀男社 長)は、新たなオフィスラ ンド「エクスパートオフィス」でも特に新橋、赤坂、青山や を立ち上げた。中古ビルをリ ニューアルすることで小規模 ながら大型オフィスビルと同 等の仕様を備え、働く「時間」 を豊かにする空間設計を施す など少数精鋭企業の困り込み を図る。初弾プロジェクトと なる「エクスパートオフィス



1階ミーティングエリア

変化している。そのため少数の施工で5日に一部工事を完 精鋭企業向けのオフィスが不 足傾向となるなどミスマッチ が指摘されている。そこで 「ベンチャーや少数精鋭企業 などのエクスパートに満足で きる新しい形態の需要は底堅 いと判断し、小規模オフィス 市場でオンリーワンを目指す ことにした」(同)という。 初弾事業の日総第23ビル 「エクスパートオフィス虎ノ 門」は、港区の大街区構想によ り再開発事業が進む同区虎ノ 門3-8-25に立地。規模は S造1階建て延べ1404平 方。清水建設の設計施工で 2006年に竣工。今回の改 修は、佐藤尚巳建築研究所が 設計を担当、大半を清水建設 が今後着手する予定だ。

の施工で5日に一部工事を完了した。 入居企業の創造性を高めるため、豊かな人間関係を育む共用ラウンジスペースを設けたほか、天井裏から床下の構造体まで吸音材を内包した壁で間仕切りをするなど高い遮音性能を実現。「水回りなどを共用部へ集約すること で、従来の小規模オフィスに比べて50-60%のオフィス契約面積を減らすことができ、テナント企業は大幅なコストダウンが可能(同)という。 第2弾のエクスパートオフィスとして、今秋オープンをめどに「日総第16ビル」(新橋、07年竣工)改修工事に

### 高機能オフィス

# 少数精鋭向けに提供

## 日総ビルディング 首都圏中小ビル改修



日総ビルディング(東京都港区、大西紀男社長)は、自社で保有・サブリ

リースする首都圏の中小ビルをリニューアルし、井ノ門の日総第23ビルを6000万円かけ、従業員24人が働く小区画でも大規模オフィスに匹敵する設備グレードを備

「エリートオフィス」事業を展開する。第1号物件として、昨年8月に十

赤坂といったエリアの中小ビルを対象にしている。また、多重セキュリティ、専用区画への個別空調やあらかじめプロバイター契約したインターネット環境の整備など、入居者が安全・安心・快適に利用できる設備も整えた。

「エリートオフィス」事業を展開する。第2号物件も計画している。新橋、渋谷、青山、

日総第23ビルの規模はS造11階建て延べ1404平方メートルで、06年11月に清水建設の設計・施工で竣工した。桜田通りに面した立地を生かし、もと

も店舗だった1階部分を共同ラウンジにした。また、多重セキュリティ、専用区画への個別空調やあらかじめプロバイター契約したインターネット環境の整備など、入居者が安全・安心・快適に利用できる設備も整えた。

日総ビルディング(東京都港区、大西紀男社長)は、自社で保有・サブリリースする首都圏の中小ビルをリニューアルし、井ノ門の日総第23ビルを6000万円かけ、従業員24人が働く小区画でも大規模オフィスに匹敵する設備グレードを備



2012.06.14  
asahi.com

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
<http://www.asahi.com/business/pressrelease/JCN201206140008.html>

2012.06.14  
Yahoo! JAPAN ニュース

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20120614-00000061-mycomj-sci>

2012.06.14  
マイナビニュース

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
<http://news.mynavi.jp/news/2012/06/14/145/>

2012.06.14  
BIGLOBE ニュース

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
[http://news.biglobe.ne.jp/economy/0614/mnn\\_120614\\_0697606422.html](http://news.biglobe.ne.jp/economy/0614/mnn_120614_0697606422.html)

2012.06.14  
livedoor ニュース

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
[http://news.livedoor.com/article/detail/6658570/?utm\\_source=m\\_news&utm\\_medium=rd](http://news.livedoor.com/article/detail/6658570/?utm_source=m_news&utm_medium=rd)

2012.06.14  
media jam

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
<http://mediajam.info/topic/2085376>

2012.06.14  
夕刊アメーバニュース

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
<http://yukan-news.ameba.jp/20120614-821/>

2012.06.14  
ニコニコニュース

日総ビルディング、土業 / 少数精鋭企業向け新オフィスブランドを発表  
<http://news.nicovideo.jp/watch/nw286042>

2012.06.14  
Fresh eye ニュース

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
[http://news.fresheye.com/article/fenwnews2/1000004/  
20120614153200\\_jc\\_prJCN56933/a/index](http://news.fresheye.com/article/fenwnews2/1000004/20120614153200_jc_prJCN56933/a/index)

2012.06.14  
excite ニュース

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
[http://www.excite.co.jp/News/release/20120614/Jcn\\_56933.html](http://www.excite.co.jp/News/release/20120614/Jcn_56933.html)



2012.06.14

infoseek ニュース

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
<http://news.infoseek.co.jp/article/20120614jcn56933>

2012.06.14

ZDNet Japan

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
<http://japan.zdnet.com/release/30021549/>

2012.06.14

CNET Japan ニュース

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
<http://japan.cnet.com/release/30021549/>

2012.06.14

JCN NETWORK

日総ビルディング、土業・少数精鋭企業向け新オフィスブランド「エキスパートオフィス」を発表  
[http://www.japancorp.net/japan/Article.Asp?Art\\_ID=56933](http://www.japancorp.net/japan/Article.Asp?Art_ID=56933)